

## 実例紹介（新築物件） — 堺市Y様邸

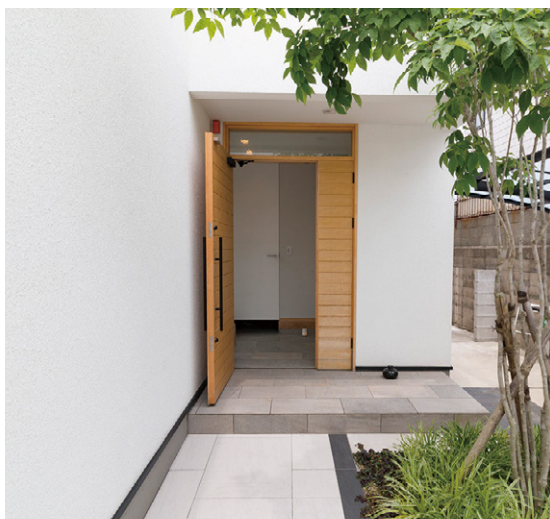


### 想いを書き綴った1冊のノートから始まった家づくり

賃貸住宅に住まわれていたY様が、新居の計画をスタートされたのは2014年春のこと。「自分の生まれ育った場所で子どもを育てたい」というご主人のたっの希望から、生家を取り壊し、隣接した土地を含める形で二世帯住宅を建てることを決断されました。

一方、建物の設計は奥様がイニシアチブを持って進められ、まずご家族の1日の過ごし方と設計要望、間取りのイメージをノートにしたため設計士に渡されました。そこには、司令塔のように自分が家全体を見渡せるキッチンがあること、生活感を隠せるようリビング近くに収納を設けること、そして衣類の収納と着替えができるクローゼットを1階に設置することなどが書き綴られていました。1回目の打ち合わせで設計士から提案されたプランは、なんと奥様の間取りイメージとは全く違うものでした。しかし、そこはプロ。一つひとつの要望をきちんと取り入れて考えられたものだったため、その後はほとんど変更なく間取りが決まったといいます。

そんな経緯があって建てられたY様邸。奥様のご要望はどのように反映されたのでしょうか。



玄関を入り、正面が家族用の上り口につながる扉



中庭が生活空間を隔て、各部屋に光と風、緑を届ける設計

## “司令塔キッチン”や“ファミリークローゼット”、 “おもちゃ部屋”など、工夫満載の生活空間

奥様の一つ目のご要望は、キッチンが家の中心に位置した間取りとなってかなえられていました。アイランドキッチンのシンクの前に立つと、ご要望どおりに左手に玄関、その奥にご夫婦の書斎、正面にはベンチ付きのウッドデッキがある庭、そして右に目をやればリビングと和室といった具合に生活空間がすべて見渡せます。これだとお子さまが1階のどこで遊んでいても目配りができます。

お子さまと言えば、Y様邸は5歳と2歳の小さなお子さまがいるとは思えないくらいすっきりと片付いています。その秘密が二つ目のご要望の答えにありました。リビングルームの白い引戸の向こうが収納スペースになっていて、遊んだあとのおもちゃをすぐに片付けられるよう工夫されているのです。なるほど、これだとお子さまの遊び場は両親が見守るリビングが中心になり、片づけを自然に習慣づけることもできます。

それから、3つめのご要望も見事に具現化されていました。Y様邸には玄関にご家族専用の上り口があり、そこがシューズクロークになっています。そしてその先が要望された衣類の収納と着替えができる“ファミリークローゼット”になっているのです。奥様は「朝食後に2階の寝室に着替えに戻るのは非効率」と話されていましたが、確かにこのクローゼットがあれば移動に無駄がなく暮らしがスムーズになりそうです。さらにこのスペースはキッチンのパントリーともつながっていて、回遊できる“裏動線”がきちんと設計されていました。

また、ファミリークローゼットにはお子さま専用の収納家具も据え付けられています。ここに勉強道具も仕舞い、お子さまたちは毎朝自分で身支度をして学校に行くのだそうです。これを見て、住みながらしてお子さまをまっすぐ育てる工夫が奥様のノートにたくさん詰まっていたことがわかりました。



1階全体が見渡せるキッチン 階段はオリジナル設計



中庭との一体感が心地よいリビングルーム



床には杉の無垢材、壁には珪藻土、天井にも木を施した自然素材のリビング空間 奥の白い引戸の向こうは“おもちゃ部屋”



1階で衣類の収納と着替えができるファミリークローゼット



ご主人の趣味である本を壁一面にしめる夫婦の書斎

## 全館空調システムと自然素材の内装で、一年中健康快適な室内に。

これまでの内容以外にY様邸の特筆すべき点として全館空調システムがあります。工業地帯が近い場所なので、窓を閉めたままでも心地よく暮らせるよう採用されました。この全館空調に自然素材の内装（床の杉無垢材、壁・天井の珪藻土など）が相まって、とても心地よい室内環境が保たれていました。

もう一点、プライバシー上お見せできないのが残念ですが、家の外観は広い土地を活かした伸びやかなデザインです。白い壁がとても印象的で、リゾートを彷彿とさせる優雅な魅力を放っていました。

自由度のある在来木造工法の住宅を、長年培った技術でしっかり建ててもらえる。その信頼感からY様は家づくりのパートナーにヨークベルを選ばれました。取材して、その選択が良かったと感じられていることが奥様の表情から伺えました。安心して快適に暮らせる建物で、ご家族の幸せを大きく育てていただきたいと願います。

### 「堺市Y様邸」概要

所在地	大阪府堺市	構造	木造2階建て
土地面積	非公開	建物本体工事費	非公開
延床面積	非公開	建築	平成27年2月 竣工